

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/09/25

Forex

| | Close | CHANGE |
|-----------|--------|---------|
| USD/THB | 35.99 | -0.13 |
| JPY/THB | 0.2426 | -0.0021 |
| USD/JPY | 148.37 | 0.78 |
| EUR/THB | 38.34 | -0.17 |
| EUR/USD | 1.0653 | -0.0008 |
| USD/CNH | 7.299 | -0.015 |
| SGD/THB | 26.39 | -0.04 |
| AUD/THB | 23.19 | 0.02 |
| USD/INR | 82.94 | -0.16 |
| USD Index | 105.58 | 0.22 |

Bond

| | Close | CHANGE |
|-----------|-------|--------|
| 5Y (THB) | 2.790 | 0.011 |
| 10Y (THB) | 3.197 | 0.055 |
| 5Y (USD) | 4.558 | -0.063 |
| 10Y (USD) | 4.434 | -0.061 |

Commodity

| | Close | CHANGE |
|-----------|---------|--------|
| GOLD | 1,927.2 | 6 |
| WTI (Oil) | 90.03 | 0.4 |
| Copper | 8,222.0 | 28.0 |

Stock

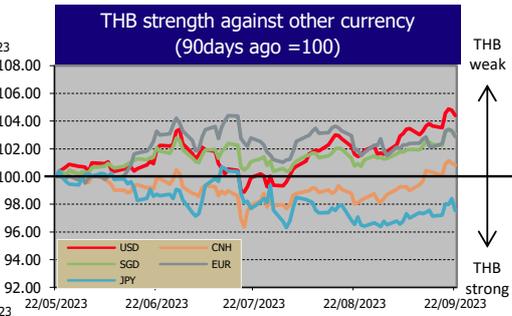
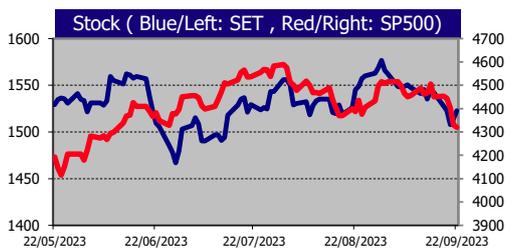
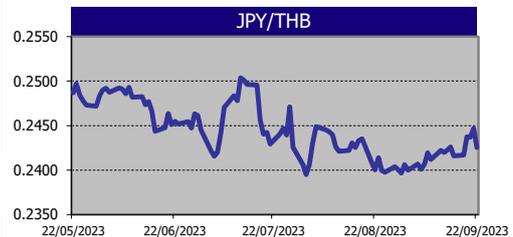
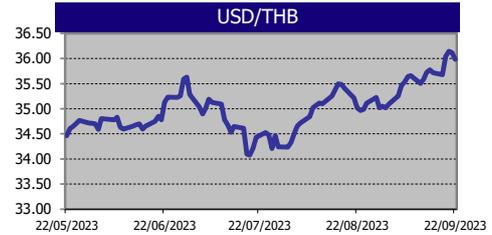
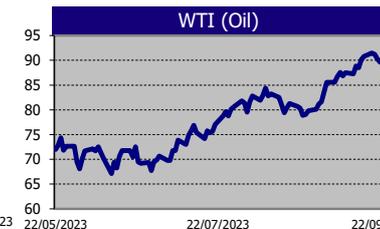
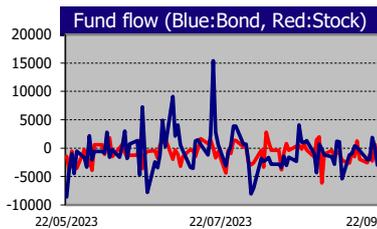
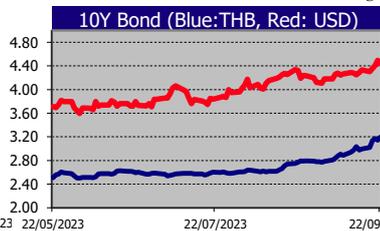
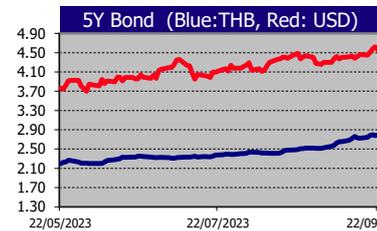
| | Close | CHANGE |
|-------------|-----------|---------|
| SET (TH) | 1,522.59 | 8.33 |
| NIKKEI (JP) | 32,402.41 | -168.62 |
| DOW (US) | 33,963.84 | -106.58 |
| S&P500 (US) | 4,320.06 | -9.94 |
| SHCOMP (CN) | 3,132.43 | 47.73 |
| DAX(GER) | 15,557.29 | -14.57 |

Fund Flow (Overseas Investors)

| | Close | CHANGE |
|----------------|---------|---------|
| Stock net flow | (1,305) | -1942.2 |
| Bond net flow | (2,981) | -3101.8 |

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

22日のドルパーツは小幅下落。36パーツ前半で取引を開始。オープン直後からドル買いが強まり、前日海外時間につけた高値近辺へと上昇。そのまま暫くは同日高値圏で推移していたが、オンショア市場終盤には週末を前にポジション調整と思しきパーツ買い戻しを受けてドルパーツは下落に転じ、36パーツちょうど付近へ。海外時間でも同様の流れが続いたために36パーツを割り込んだ推移が継続。NY時間終盤に若干反発するも、35.99と前日比小幅にパーツ高で引けた。

●ドル円その他

22日のドル円は上昇。147円台半ばで取引を開始。日銀金融政策決定会合の結果発表前から小幅に円安方向へ動いていたが、現状維持が決定されると148円台へと急上昇。その後は植田総裁の会見を前に一時上げ幅を縮小したが、会見は先日新聞で報じられたタカ派な見解とは対照的にフォワードガイダンスの大きな変更もないハト派な内容だったため、148円台半ばまで上値を伸ばした。海外時間では冴えない米経済指標とそれを受けた米金利低下が重しとなるも、根強い円売りに支えられて148.37で越えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週金曜日に若干調整が入りましたが、9月に入ってから足許まででアジア通貨の中でタイパーツは最も対ドルで下落している通貨となっています。ドル自体が買われていることに加えて、人民元が対ドルで軟調な地合いにあることは他のアジア通貨同様にタイパーツの下落要因です。しかし、個人的にはタイ固有の要因がパーツ安に一番影響していると考えています。まずは8月に発表された2QのGDPが予想より大分弱かったことがパーツ売りの土台を作ったと思います。そうした今後の経済回復に対する懸念が高まっていた中で新政権が経済テコ入れのためにバラ撒きと言われてる経済政策を発表したため、タイの財政収支悪化やパーツ建てリスク性資産の需給バランス悪化が危惧されていることがパーツ安に強く影響していると個人的には考えています。特にタイの政策運営から生じる財政上の懸念は政府が方針転換しない限り変わることはなく、来月から突入する4Qのパーツ需給に負の影響を残すと思います。当初のタイ政府の見立てでは緩やかな経済回復が見込まれていましたが、それに黄色信号が見えつつある中で今週開催されるタイ中銀のMPCが経済の状態やリスクをどのように評価しているのか、いつも以上に声明文に注目したいところです。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.